

Topics

“社会を明るくする運動”
作文コンテスト、
三瑞小・小泉明日香さんが
優秀賞を受賞

1月7日、第69回“社会を明るくする運動”作文コンテストの表彰式が行われ、第三瑞光小学校6年の小泉明日香さんが優秀賞である東京保護観察所長賞を受賞し、西川区長に報告しました。この賞は、日常の家庭生活、学校生活の中で体験したことを基に、犯罪・非行のない地域づくりや犯罪・非行をした人の立ち直りについて考えたことや感じたことなどを題材にしたもので、東京都の小学校163校から4,988作品の応募があり、その中で優秀賞は7作品が選ばれました。



▲西川区長に優秀賞受賞の報告をする小泉さん

ゆいの森あらかわが来館者
200万人を達成しました

1月15日、ゆいの森あらかわの来館者が、開館から950日で200万人を達成しました。

当日は記念セレモニーが開催され、来館200万人目にあたるご家族には、西川区長から認定書が手渡されました。続いて、観覧していた子どもたちがプレゼンターを務め、記念品と花束を贈呈しました。また、来館者達成記念にくす玉割りも行われ、華やかなセレモニーとなりました。



▲来館者200万人達成記念のくす玉割り



▲西川区長と一緒に記念撮影

令和元年度

あらかわお弁当レシピコンテスト

受賞作品発表!

今年も素敵でおいしそうなお弁当がたくさん選ばれました。小・中学生の部で選ばれた各賞のお弁当を紹介します!

荒川区長賞

小学校1~3年生の部

「グルメほっかいどうべんとう」



都筑 茉奈さん
ひぐらし小学校・2年生

夏の家族旅行で食べたおいしいものを、もう一度食べたくて作りました

小学校4~6年生の部

「夏にばっちり夏野菜弁当」



福地 美里さん
赤土小学校・4年生

夏の野菜を多く入れた、野菜がメインのお弁当を作りました

中学生の部

「夏野菜色どり弁当」



福田 なつさん
尾久八幡中学校・2年生

母手作りのお弁当を自分で作ると料理の大変さが分かり、母のすごさを感じました

女子栄養大学学長賞

小学生の部

「天までとどけ! おじいちゃんありがとう弁当」



山口 柚菜さん
汐入東小学校・6年生

優しくしてくれたおじいちゃんに食べてほしいお弁当を作りました

中学生の部

「元気たっぷり! 夏野菜弁当」



福田 柑子葉さん
諏訪台中学校・2年生

忙しい母と一緒に食べられる夏らしい彩りのあるお弁当を作りました

あらかわ 今昔ものがたり 日 [ばしょうくんと旅する奥の細道]

【問合せ】荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234



ゴールは、奥の細道むすびの地・大垣

ばしょうくんの旅は、いよいよ最終回だよ。弟子の路通さんのお迎え 8月中頃、歌人の西行さんが和歌を詠んだ敦賀(福井県敦賀市)、種々の浜(今の色ヶ浜)を訪ね、大先輩をしのんで俳句を詠んだ。美しい浜辺の思い出は、作品や句碑となって今でも敦賀に伝わっているんだよ。

ここでお友達の等裁さんとはお別れだけど、弟子の路通さんのお迎えに来てくれた。ゴールの美濃国(岐阜県)の大垣まで一人旅を覚悟していたから、とても心強かったんじゃないかな。

謎のルートを探る 芭蕉さんが大垣まで、どこを歩いたのか正確にはわかっていない。曾良さんが体調を崩して山中温泉(石川県)で別れたよね。それからの芭蕉さんの足跡はあまり残されていないんだ。先に行った曾良さんの日記から、芭蕉さんのルートを推測することができるんだよ。



芭蕉さんが船に乗った川湊

どうも、芭蕉さんは、越前国(福井県)とおうみのくに(滋賀県)・美濃国(岐阜県)を結ぶ北国街道を通過

行ったと考えられているんだ。

むすびの地・大垣へ 8月21日、芭蕉さんは馬の背に揺られて奥の細道の旅のゴール、大垣に入った。大垣は何度も訪れた場所、お友達も多かったから、たくさん出迎えに来てくれた。なんと病気が良くなった曾良さんも駆けつけた。長旅で命を落とすかもしれないと覚悟していたから、弟子やお友達との再会は生き返った人に会えたように嬉しかったんだって。赤坂宿の明星輪寺をお参りし、大の仲良し木因さんや家老の戸田如水さんのお家に招かれたり、句会を開いたりして約2週間を過ごしたんだ。

永遠の旅人・芭蕉さん 千住を旅立ったのが、春の3月27日。大垣にたどり着いたのは、8月(旧暦)の末の秋だった。5か月の旅を終えたばかりの芭蕉さんは、旅の疲れも癒えないうちに、伊勢神宮(三重県)にお参りしたいと、大垣から船に乗り、また旅に出たんだ。

蛤のふたみにわかれ行秋ぞ 芭蕉 奥の細道はここでおしまいだけど、芭蕉さんは最期まで旅を続けた。旅を愛し旅に生きる永遠の旅人だったんだね。